

高城中学校だより

令和7年2月20日（木） 校長 飯干 裕二

明るい選挙啓発4コマまんが受賞式

「高城中学校だより1月号」でもお知らせいたしましたが、「明るい選挙啓発4コマまんが受賞式」が、去る1月27日に都城市役所本館4階秘書広報課前会議室で行われました。中学生の応募作品だけでも1280点という中での栄えある受賞となりました。また、都城市内の中・小・高等学校69校の中から1校のみ選出される、学校賞も本校が受賞いたしました。選挙の投票率を上げることは、民主国家である日本の大きな課題です。今後も継続した取組を行って欲しいものです。



なお、前号でもお知らせしましたが、受賞者等は以下のとおりです。おめでとうございます。
○学校賞：本校 ○最優秀賞：山崎栞永さん（3-2） ○選挙管理委員長賞：中島愛琉さん（2-2）

参観日及び立志式へのご出席ありがとうございました

2月7日（金）に参観日（2学年は立志式）が行われました。1学年は福祉学習（総合的な学習の時間での取組）の発表と学級懇談。2学年は立志式と学級懇談。3学年は学級懇談のみと各学年で異なる内容でしたが、保護者の皆様におかれましては、ご多忙の中、ご出席いただきありがとうございました。特に立志式につきましては、2名のご来賓をお迎えし本校体育館で行われました。式の中では、生徒一人一人が自分の夢とこれからの生き方について決意を述べてもらいました。4月からは最上級生として、下級生の模範となることを期待しています。



卒業式に際し

もうすぐ3月です。3月は旅立ちの時期であり、本校の卒業式も3月16日（日）に実施されます。その前に県立高校一般入試があり、そして、卒業式前の3月11日は未曾有（みぞう）の大震災と言われる東日本大震災が発生した日です。今から紹介する文章は、昨年の「高城中学校だより」でも掲載いたしましたが、震災発生後に、宮城県気仙沼市立階上（はしかみ）中学校卒業式での卒業生答辞（梶原裕太さん）です。現在多くのメディア等（YouTube等で動画が見れます）で取り上げられています。何度も繰り返し見なければならないものだと感じています。

卒業生代表答辞

本日は未曾有（みぞう）の大震災の傷も癒えないさなか、私たちのために卒業式を挙行していただき、ありがとうございます。

ちょうど10日前の3月12日。春を思わせる暖かな日でした。私たちは、そのキラキラ光る日差しの中を、希望に胸を膨らませ、通い慣れたこの学び舎を、57名揃って巣立つはずでした。前日の11日。一足早く渡された思い出のたくさん詰まったアルバムを開き、十数時間後の卒業式に思いを馳（は）せた友もいたことでしょう。「東日本大震災」と名付けられる天変地異が起こることも知らずに・・・。

階上（はしあみ）中学校といえば「防災教育」といわれ、内外から高く評価され、十分な訓練もしていた私たちでした。しかし、自然の猛威の前には、人間の力はあまりにも無力で、私たちから大切なものを容赦なく奪っていきました。天が与えた試練というには、むごすぎるものでした。つらくて、悔しくてたまりません。

時計の針は14時46分を指したままで。でも時は確実に流れています。生かされた者として、顔を上げ、常に思いやりの心をもち、強く、正しく、たくましく生きていかなければなりません。命の重さを知るには大き過ぎる代償でした。しかし、苦境にあっても、天を恨まず、運命に耐え、助け合っていくことが、これから私たちの使命です。

私たちは今、それぞれの新しい人生の一步を踏み出します。どこにいても、何をしていようと、この地で、仲間と共有した時を忘れず、宝物として生きていきます。

後輩の皆さん。階上中学校で過ごす「当たり前」に思える日々や友達が、いかに貴重なものかを考え、いとおしんで過ごしてください。先生方、親身のご指導、ありがとうございます。先生方が、いかに私たちを思ってくださっていたか、今になってよく分かります。地域の皆さん、これまで様々なご支援をいただき、ありがとうございました。これからもよろしくお願ひいたします。

お父さん、お母さん、家族の皆さん、これからも私たちが歩んでいく姿を見守ってください。必ず、よき社会人になります。

私は、この階上中学校の生徒でいられたことを誇りに思います。

最後に、本当に、本当に、ありがとうございます。

平成23年3月22日 第64回卒業生代表

いかかでしょうか。この卒業生答辞（メッセージ）は、これから何十年と時を経ても変わらないものです。「苦境にあっても、天を恨まず、運命に耐え、助け合っていくこと」とは、我々、国民が一番大切にしなければならないことであり、これこそが日本の強みだと思います。

だからこそ、私たちは「当たり前」ということに感謝し、是非、3月16日（日）に挙行される第78回卒業式は、心のこもった感動の卒業式にしたいと思います。